

未来社会を生きる子供たちを見据えて 副校長 岸田和之

子供たちが大人になるころどのような世の中になっているでしょうか。

生産年齢人口の減少、グローバル化の進展、絶え間ない技術革新、急激な少子高齢化、人工知能（AI）の飛躍的な進化等、想像できない未来が来ると考えられます。子供たちが、予想困難な未来社会を生き抜くためには、子供たちが社会の変化に柔軟に対応できる力（コミュニケーションを行う力、他者と協力する力、進んで参加する態度等）が求められます。7月の学校便りの裏面でもお知らせいたしました。本校では、生活科・総合的な学習の時間を軸としてESD（持続可能な開発のための教育）の視点に立った校内研究を推進しています。環境や地域、人との関わり等をテーマとした問題解決的な学習を通して、自ら考え行動し、友達と関わりながら課題に対して粘り強く挑戦する子供たちの育成を目指しています。日頃の授業からも、子供たちが進んで参加しようとする姿、一生懸命に課題を解決しようとする姿、仲間とともに学び合う姿等、立派な姿が見られています。

2月19日（土）の学習発表会では、取り組みの一端を御覧いただきたいと思い、準備を進めておりました。しかしながら、新型コロナウイルスによる感染防止の観点から、苦渋の決断ではありますが、保護者、地域の皆様をお招きするかたちでの発表会は中止とさせていただきます。子供たちは、学習発表会を見据えて準備を進めてきておりますので、現在、代替案を検討しています。学年によって発表形態が異なるため、代替案については決まり次第お知らせいたします。皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

13 気候変動に 具体的な対策を



粕江市の「ゼロカーボンシティ」の宣言を受け、本校でも、脱炭素社会に向けた具体的な取り組みを今月から始めます。本校のゼロカーボンの取り組みの第一歩として、学校便りのペーパーレス化を進めます。この地球を、美しいままに引き継ぐことは、今を生きる私たちの責務です。本校もそのための一歩を踏み出します。

2月行事予定

※保護者の方は、学校ホームページの「保護者・児童」サイトの学校便りで御確認ください。

※その他の方は、学校までお問い合わせください。

※まん延防止等重点措置が延長される場合は、行事予定が変更になります。

2月の生活指導

寒さに負けない体をつくろう

全国的に新型コロナウイルスが猛威をふるっています。また、インフルエンザウィルスの脅威も広がる時期です。

学校では、マスク、手洗い、ディスタンスの声掛けとともに、換気、水分補給、元気に外遊びをするよう子供たちに指導をしています。ご家庭でも声掛けをお願いいたします。

また、お子さんの体調が十分でない場合は、無理な登校は控え、休養させてください。

けやき教室より

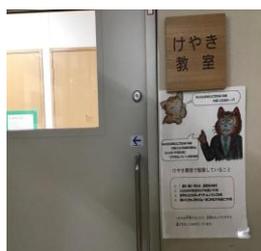
「けやき教室」は1階にある特別支援教室です。児童一人一人に応じた個別学習と、グループ学習を行っています。

個別学習では、学級の様子を見たり保護者や学級担任に話を聞いたりして児童のよさを一層伸ばしていけるようにと考えています。児童のよさが伸び苦手なところが得意になるように練習機会を作ったり、他の方法を提案したりして学習に取り組んでいます。

グループ学習は3～5人位の少人数で、コミュニケーションにかかわる学習や、気持ちをコントロールしたり人の気持ちを考えたりする学習をしています。1時間を「運動」「言葉」「ソーシャルスキルトレーニング」に分けて行っています。1年間同じグループで学習をして人との関わり方を学び、相手を思いやる態度もねらいとしています。



新しいできた3つの個別学習室



けやき教室の入口

コロナ禍における音楽の学習の様子

今年度も音楽科の学習は、感染症対策が欠かせません。不織布マスクをしたままの歌唱、密にならないようにと、児童同士の間隔を空けたり、グループ学習でも気を付けながら相談したりと、対策をとりながらの学習となりました。

それでも、真つすぐ前を向いて楽器を吹き、隣との距離をとってのグループ発表をし、音楽集会でも、それぞれ学年ごとに工夫を凝らして演奏にこぎつけていました。目標に向かって表現活動に取り組み、児童は対策をとりながら、音楽を楽しんでいます。

マスクをとって、思い切り友達と声を合わせて歌ったり、演奏をしたりする日が早く来るようお願いしながら、音楽を楽しむ心を養っているところです。

4年生

4年生は、いっしょうタイム（総合的な学習の時間）で、「人にやさしく みんな同じ」（生物多様性）について学習しています。12月には、聴覚障がい者や視覚障がい者の方と交流したり、養護老人ホームで働く人のお話を聞いたりしました。視野狭窄マスクを着けて、高齢者の視野はどのような感じになるかを体験しました。今まで自分たちが知らなかったことがたくさんあることや、障がい者や高齢者の方に対して先入観をもち接していたことにも気付くことができました。

1月は、これらの体験から生まれた、「もっと知りたいこと」「疑問」を解決するために調べ学習を行い、グループで発表し考えを交流しています。更に『生物多様性』について考えを深めていけるよう学習を進めています。

